

県外派遣報告書

審判員名	和田 雄一郎	所属	クラブ
大会名	平成29年度第23回関東クラブバスケットボール選抜大会兼審判講習会		
期間	平成29年9月9日(土)～10日(日)		
会場	高崎アリーナ・浜川体育館		
スケジュール			
期 日	内 容	場 所	
9月9日(土)	開講式、机上講習、実技講習	高崎アリーナ・浜川体育館	
9月10日(日)	実技講習、閉講式	高崎アリーナ	
会議 講義 内容			
机上講習			
<p>河野関東クラブ連盟審判長より、今回で関東クラブ選抜大会兼審判講習会が最後なので、各技術講師よりアドバイスを頂くということで講習が始まりました。以下、各講師からのアドバイス内容です。①ニューリードに早く入り、体の向きを整える。②ガイドラインの徹底。③バスケットボールのプレイを理解することで、説明の出来る判定をすること。④常にプレイを捉える意識を持つ。プレゼンテーションを丁寧に行う。⑤自分の考えをしっかりと持ち、ブレずにオンザコートに立つ。⑥リード時、右に行くときに走ってもよい。なぜなら、プレイに間に合わなければ意味がない。⑦ノーワーキングエリアに居続けないようにすること。⑧コントロールの意味が、『マネジメント』という言葉に変化してきている。⑧ルールブック・ガイドライン以外にもゲームへの『準備』を行う方法はあるので、常に情報収集するアンテナを張り続ける。</p>			
実技			
担当試合	期 日	9月9日(土)	男子
	対戦カード	山和 VS 群馬町クラブB	主審 副審
	相手審判	山田 氏(東京)	
ミーティング内容		主任 武井 晋平 氏	
<p>笛を大きく鳴らすこと。小さいがために選手へのメッセージが伝わらない。 リード時、ゴールの右側にいったとき、4番エリアへボールがスキップパスされた。その時はとにかくことを意識しないと、そのエリアまでトレイルがカバーするのは非常に難しい。ダッシュしてでも戻る1試合を通して、判定に波があった。特に3Pの半ば辺りが笛が鳴らず、基準がおかしかった。 トレイル時にサイドラインと平行に体の向きがなっていることが多い。そのため、アングルでプレーを捉えておらず、自分でブラインドを作ってしまったたり、判定を難しくしてしまっている。</p>			
全体の感想			
<p>昨年に引き続き大会に派遣させて頂きました。オンザコートでは1試合を通じて判定し続けることが途中で出来なくなり、自分自身のセルフコントロールがまだまだ足りないなど実感致しました。試合の中で今どういう状況で試合が進んでいるかを頭の中で把握すること、これを今後の課題としてやっていきたいと思えます。また、机上講習では今回来て頂いた講師の方々から今トップリーグではどのような指導をされているのかお話して下さったので、自分だけでなく県内に戻ってからはこの情報を各審判員に伝えていけたらと思えます。最後になりましたが、今回大会運営にあたり群馬県クラブ連盟の皆様には大変お世話になりました。また、今大会に派遣をさせて頂きました、埼玉県クラブ連盟、県審判部の皆様に感謝を申し上げます。</p>			